I	種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
 11 橋	橋台工	敷幅 (B)	± · . 30	50	橋軸方向の断面寸法は 中央及び両端部で測定 し、その他は構造図の寸 法表示箇所を測定する。
梁下		控壁の厚 さ(T)	.+ 20 13	20	
部工事		高さ(H)	, ± , 30	v. 50	
7		中心線の ズレ(e)	.±30	, ± , , 50	
		天湍長(L₁)	, ± , 30	4. 50	
		敷長(L ₂)	± 30	50	
		胸壁間距 離(L ₃)	,±, 20	, ± , 30	
		橋台沓部	「1 共通工事の精度を 要するもの」の項に定 めるところによる	同 左	同 左

管		式		
管理図表に	結果一覧表	構造図に朱		
よるもの	によるもの	記、併記す	測定箇所標準図	摘 要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの		110 女
	(1水工(3-1)	200 200		
2-2)	#**生國上生	黄柏豆 七分 日辛		2 7 102 (1) 5
	構造図に朱	敷幅、控壁		2スパン以上
	記、併記す	の厚さ、高		の場合の胸壁
	ることが困	さ、中心線	L ₃ L ₃	間距離は「橋
	難なもの	のズレ、天	↑ ↑ ↑ ↓ ↑ pet T	脚工」の橋脚
		端長、敷長、		中心間距離に
		胸壁間距離	/ \ н н \	おいて管理す
				る。
			<u> </u>	
			<u>B</u> → B	
			Ę	
			L ₁	
			†	
			_ _ e	
			H 	
			<u> </u>	
			L ₂	
同 左	同 左	同 左	同左	

I	- 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測定基準
11 橋	橋脚工	基準高(∀)	.± 15	y ± 2, 20	橋軸方向の断面寸法は 中央及び両端部で測定 し、その他は構造図の寸
梁	重力式 半重力式 」	天端長(11)	.±., 30	50	法表示箇所を測定する。
下部		敷長(2)	, ± , 30	50	
I		天端幅(B ₁)	.+4. 204. 13	20	
事		敷幅(B ₂)	.±. 30	2. 50	
		高さ(H)	, ± , 30	50	
		橋脚中心 間 距 離 (L)	.±. 20	, ± , 30	
		中心線の ズレ(e)	.± 30	, ± , 50	

<u></u>	<u>_+</u>			
管理図表に 結果一覧表 よるもの によるもの (様式 2-1、 (様式 3-1) 2-2)		測定箇所標準図	摘	要
(は に は い こ な も の は と う の	端長、敷長、	$\begin{array}{c} L \\ B \\ B \\ C \\ C$		

I	種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測定基準
11 橋	橋脚工 (ラーメン式)	基準高(∀)	.±. 15	, ± 1, 20	橋軸方向の断面寸法は 中央及び両端部で測定 し、その他は構造図の寸
梁		天端長(1)	.± 15	20	法表示箇所を測定する。
下部		天端幅 (B ₁)	.+ 20 13	20	
工事		中間幅(d)	,±., 15	20	
		基礎幅 (B ₂ 、b)	,±., 30	50	
		高さ(H)	, ± , 30	50	
		厚さ(T)	.+4. 204. 13	u - vu 20	
		橋脚中心 間 距 離 (L)	.± 20	± 30	
		中心線の ズレ(e)	,±, 30	. ± . 50	

<u> </u>	<u></u>	1		-
管理図表に結果一覧表よるものによるもの	記、併記す	測定箇所標準図	摘	要
(様式 2-1、 (様式 3-1) 2-2)	るもの			
構造図に朱記、併記することがあるまで	基端幅基さ橋距線準長、礎、脚離の高、中幅厚中、ズ高、で心中レスを	$\begin{array}{c} L \\ \hline \\ B_1 \\ \hline \\ H_2 \\ \hline \\ H_3 \\ \hline \\ \end{array}$		
		$ \begin{array}{c c} \hline & \\ & \\$		